

2025年度の新型コロナワクチン定期接種に関する見解（概要版）

2025年9月1日 日本感染症学会・日本呼吸器学会・日本ワクチン学会

COVID-19の高齢者における重症化・死亡リスクは依然として高く、免疫を逃れる新型コロナウイルスの変異も続いているため、冬の流行に備えて2025年10月から始まる新型コロナワクチンの定期接種を強く推奨します。

高齢者のCOVID-19の重症化・死亡リスクは高い状況が続いています

わが国のCOVID-19による死亡数は、2024年も35,865人（死因順位第8位）と、インフルエンザの死亡数を上回っています。2025年も高齢者のCOVID-19による入院患者数は7月までに3万人を超え、重症化リスクはインフルエンザと同等かそれ以上です。

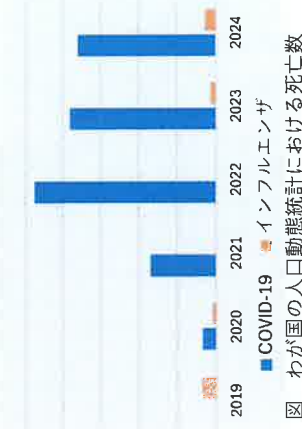


図 わが国の人口動態統計における死亡数

2024年秋のJN.1系統対応新型コロナワクチンも発症・重症化予防効果を示しました

2024年秋からわが国で使用されたJN.1対応新型コロナワクチンのわが国における発症予防に関する有効率は、JN.1対応ワクチンを接種しなかった場合と比べて、65歳以上で52.5%でした。これは、JN.1対応ワクチン接種群では非接種群に比べて発症率が52.5%減少していたことを意味します。60歳以上の入院予防効果も63.2%であったことが報告されており、重症化予防効果もみられたことが報告されています。

長崎大学熱帯医学研究所. 新型コロナワクチンの有効性に関する研究（VERSUS研究）
～国内多施設共同症例対照研究～第12報

COVID-19の流行はこれからも続きます

COVID-19は5類感染症に移行後も流行を繰り返しており、2024年と2025年にも冬と夏に流行がみられています。その要因の一つとして、変異株が繰り返し出現していることが挙げられます。オミクロン株は数か月ごとに変異を繰り返し、変異のたびに免疫を回避する力が強まっています。実際に、高齢者施設や医療機関の集団感染が2025年も2024年と同じレベルで報告されており、感染力は依然として強く、今冬には再び流行が予想されます。

東京都保健医療局感染症対策部. 東京都新型コロナウィルス感染症情報

新たな新型コロナワクチンの接種が必要で流行株に対応した

新型コロナワクチンの発症・重症化予防効果は、変異株の影響もあり、接種後数か月で減衰することが報告されています。これからは、インフルエンザワクチンのように流行株に対応した新たなワクチンの追加接種が必要です。またオミクロン株に一度感染しても、6か月以上経過すると再感染のリスクが増えることが報告されており、COVID-19感染から3～6か月以上経過していれば、ワクチン接種が望まれます。過去の感染歴があっても新たな接種によって免疫力をさらに高めることができます。

Chemaitelly H, et al. Nature 2025

定期接種として用いられる新型コロナウイルスは5種類です

オミクロン株のJN.1系統であるLP.8.1やXECに対応した新たな新型コロナウイルスが供給されます

製剤名	製薬企業	種類	抗原組成	1回用量	創製/製造	わが国の初回承認日
コナチイ®筋注シリンジ 12歳以上用	ファイザー	mRNA (SP)	LP.8.1	30 µg	海外/海外	2021年2月14日
スパイクバックス®筋注	モデルナ	mRNA (SP)	LP.8.1	50 µg	海外/海外	2021年5月21日
ヌバキソビッド®筋注1mL	武田薬品工業	組換えタンパク質 (SP)	LP.8.1	5 µg ^a	海外/国内	2022年4月19日
ダイチロナ®筋注	第一三共	mRNA (RBD)	XEC	60 µg	国内/国内	2023年8月2日
コスタイベ®筋注用	Meiji Seika ファルマ	sa-mRNA (自己増幅型mRNA) (SP)	XEC	5 µg	海外/国内	2023年11月28日

わが国の初回承認順に記載。^aアジュバント Matrix-M 50 µgを添加。SP, スパイクタンパク質; RBD, SPの受容体結合部位; sa-mRNA, self-amplifying mRNA

新型コロナウイルスの安全性について

接種後には一過性の有害事象が一定の割合で見られますが、発熱や倦怠感の頻度は接種回数が増えるにつれて減少しています。2024年秋からのJN.1対応ワクチンについても、高齢者における虚血性心疾患、心筋炎、脳血管障害など29種類の重篤な有害事象の頻度は、非接種者と比べて上昇していないことが報告されています。

Andersson NW. JAMA Netw Open 2025

また、海外の複数の研究で、新型コロナウイルスと接種後の死亡には関連性はないことが報告されていますが、わが国の1〜2回目および追加接種でも死亡リスクは増加していないことが報告されています。

Takeuchi Y. Vaccine 2022, Mimura W. Hum Vaccine Immunother 2024

高齢者には新型コロナウイルスの定期接種を強く推奨します

COVID-19の重症化リスクはインフルエンザと少なくとも同等かそれ以上であり、高齢者の定期接種になっているインフルエンザと同様にワクチンによる予防が望まれます。また、COVID-19の罹患後症状や罹患後1年間にわたって増加する心血管疾患や呼吸器疾患などの続発症を予防する効果もみられるため、高齢者には今冬の流行に備えて2025年10月から始まる新型コロナウイルスの定期接種を強く推奨します。

Tsampsian V. JAMA Intern Med 2023, Huh K. Clin Microbiol Infect 2024

ワクチンの利益とリスクを正しく比較し、お近くの医療従事者とよく相談して接種を判断することが必要です。また、医療従事者からの積極的な推奨も望まれます。